就学児童の健康診断日

忘れずにネ…

この春、小学校へ入学する子どもたちの「健康診断」が、学区ごと、次のとおり行なわれます。忘れないで保護者、付き添い者同伴のうえ、受けさせてください。なお、就学予定者で、診断日近くになっても通知がない――というかたがありましたら教育委員会学校教育課あて連絡してください。

▽第一小学校…一月二十三日(水)十二時十五分から
▽第二小学校…一月二十四日(木)・二十五日(金)午後一時から――案内の日に
▽満日小学校…一月十八日(金)十二時三十分から
▽結小学校…一月十八日(金)十二時三十分から
▽市之瀬小学校…二月五日(火)十二時三十分から
▽小合東小学校…一月二十五日(金)午後一時十五分
▽小合小学校…一月十七日(木)十二時三十分から
▽金津小学校…一月二十一日(月)十二時二十分から
▽阿賀小学校…一月三十日(水)午後一時から
▽新関小学校…一月二十九日(火)十二時三十分から

市長雑感 (42)

せめて正月三か日くらい静かに家族と顔を合わせて過ごしたいと思いながらも、周囲の情勢が騒然としすぎ、落着いた雰囲気がつくられそうにもない。物価高による台所への直撃が一番たたっているのだろうが、スカットした正月気分にはなれない。子どもは子どもなりに、百円玉では不平もでそうな気配。「いったいどうなるんでしょうネ」こんなあんばいがいつまで続くんでしょうかネ」――と、深刻な顔で問いただされると返答に窮する。

あれも値上げ、これも値上げと便乗値上げも加えて手がつけられない状態だが、品物不足になるかも?という情報で消費者が手当たりしだいに先買いする。しかし、大手の商社が売り惜み、買い占め――という技術でストックコントロールをしながら、値上げに拍車をかけるのと違って、紙、砂糖、洗剤と先買いにほん走する消費者だけを責める気にはなれない。

配給、統制経済という暗い過去を思い出し、かってダマされた経験をもつ四十代後半の人たちにとっては、バカという奇異な現象と写る若い人の立場と違って、当然の行動のような気がする。

もちろんオーバーに騒ぎたてることは慎しまねばならないが「物価上昇の原因は、海外インフレによる特種な商品の特種な高騰」という自国以外の要因によるとすると、その筋の見解は別としても、需要抑制という消費者のみにマ

需要抑制で安定するか

トをしぼった施策で、このインフレ退治ができるかどうか。少なからず疑問をいだきながらも、消費は美徳から節約は美徳なり――と大転換を余儀なくされ「物を大切にする」「ムダ使いをなくす」という基本的姿勢に異論はない。

年末通常国会で、国民生活に関連する二つの重要法案――「生活安定緊急措置法案」「石油需給適正化法案」が審議され、一部修正を含め可決したが、いくつかの疑問点が残されたままの成立であるので、国民みずからも政府のこれからの施策を重視していく必要があろう。

いずれにしろ国民が納得した上での徹底した施策を示しこの難局を乗りきらねばなるまい。成長と福祉の両立ということで、従来の生産優先から生活と人間優先という正しい路線の軌道修正が、スタートからつまずくようでは大変である。私どもの協力できる分野については〝節約運動〟に積極的な姿勢を示すことにやぶさかでない。

志田保

市民随感

秋葉山と私

善道町二
塩練ユキ子

新津に生まれ育った私にとって、秋葉山は子どものころから楽しい場所であった。近所の友だちと笹をかき分けて下の方へ降りて、薄紫色の雪の下をよく摘んできた。子どものころ遊んだ楽しい思い出が、山へ行くたびに思い起こされる。

ところで今年は、よく山へ行った。春、初夏、夏の終わり、秋に、時にはほとんどにぎわい、時にはほとんど人がいない静かな時に、ずい分いろいろな角度から秋葉山を見つめたように思う。

先日も暖かい日に子どもをつれて出かけた。秋葉神社の方から登ったが、老松は相変わらず美しく、紅葉も見ごとで、秋を満喫した。何気ない一本の木を見上げているうちに、自分の気持ちが素朴になり、自然との対話が出来るように感じられる。山へ行くのがたび重なり、今や子どもだけでなく、私にとっても秋葉山はかけがえのない憩いの場となってきた。

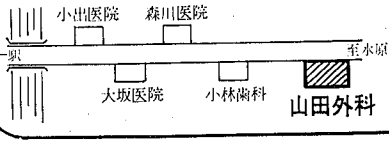
遠くまで出かけなくても、近くにこんなよい所があることを嬉しく思う。また、開発も自然を生かした方法で――と願わずにはいられない。

（主婦・三十二歳）

係から…早くからご寄稿いただいていたものですが、紙面の都合で掲載が遅れました。おわびします。

謹賀新年

胃腸・皮膚・肛門(ぢ)・泌尿・X線

山田外科医院

新町2丁目1－6　TEL(2)0432